




# 小樽南ロータリークラブ会報

**1960年創立**  
昭和35年2月5日

# 21


2021年1月29日発行  
通巻 第2931号

Rotary 

2020-2021年度IRテーマ

**2020-2021年度 RI第2510地区目標**  
「守・破・離」の心で  
初心を忘れず！変化を恐れず！  
希望の扉を開けましょう。

- 2020年ロータリー100周年を祝おう
- 会員基盤の強化
- IT活用の推進と公共イメージの向上
- 1クラブ1プロジェクトの推進
- ロータリーファミリーへの支援と学友連携の強化
- クラブ戦略計画の作成に期待

  
ロータリーは機会の扉を開く

**今週1月29日(金)のプログラム**

- クラブフォーラム

**来週2月5日(金)のプログラム**

- 卓話：銭函RC 茂川長生氏

**再来週2月12日(金)のプログラム**

- 

●例会場/オーセントホテル小樽 ●例会日/毎週金曜日12時30分 ●事務局/〒047-0032 小樽市稲穂2-15-1(オーセントホテル内) TEL.0134-27-8080 ●Club Homepage URL <http://rid2510.org/otarusouth/>

●第20回例会報告(1月22日(金)) ●卓話：小樽RC 稲垣哲也氏

■ロータリーソング【我らの生業】  
■会長挨拶【斎藤会長】

東京都をはじめとする11都府県に緊急事態宣言が拡大しております。小樽でも毎日10人前後の感染者が出ています。

さて、今日は臨時総会と第6グループロータリアン卓話の第7弾として、小樽ロータリークラブ次年度会長の稲垣哲也さんにお越しいただきました。

臨時総会では、野村会長エレクトから次期の理事・役員の発表があります。次年度も順調に進んでいるようです。また、現幹事を励ます、歴代幹事による小舅の会も先週お食事持ち帰りで行われたようでございます。なんとも寂しい感じですが、今は我慢の時でしょうか。

本日お越しの稲垣さんとは、ライバル高の柔道部仲間として40年以上の長きに渡り友人関係が続けさせていただいております。稲垣さんと私は、今でこそ同じような体型をしておりますが、名門桜陽高校柔道部時代は、100キロ以上で重量級の北海道を代表する選手、かたや私は70キロ以下中量級の平凡な選手でした。当然個人戦では当たることがなかったわけです。それが、一度だけ公式戦で対戦した苦い思い出があります。それは、蘭越高校を会場に行われました、今から44年前、昭和52年度インターハイ小樽後志地区予選の団体戦決勝桜陽対潮陵、5人目大将戦での対戦でした。私の前まで2対2の同点ながら、内容で優っていた潮陵高校でした。監督から死んでも引き分けてこいと、稲垣対策の作戦を伝授してもらっていたのですが、最終的に寝技で押さえ込まれ、一本負けを期し逆転により、3対2で潮陵高校は破れ、桜陽の連覇は続きました。その時、私は顔面すべてを畳にこすりつけられ、鼻、額、頬とずり剥けになり、試合終了後、保健室に担ぎ込まれました。保健室で傷を見た、お手伝いの女子高生にはきゃーと言われ逃げ出す始末。養護の先生からは、だから柔道は野蛮なのよね、と捨て台詞まで言われる始末…。所詮、皮が剥けただけなので、治療といってもオキシドールを顔にかけられ、ぼんぼんと拭かれて終わり。

学校に帰り、同級生からは、どうしたのよと言われて、女子生徒からは、ここでもきゃーと言われ…。散々な思いをしました。小樽JCで20年ぶりに再会した時、その話をすると、そんなことあったっけ、とつれない返答…。

今日はよろしくお願い致します。

■ゲストビジター紹介  
■幹事報告

ゲストスピーカー 小樽ロータリークラブ 稲垣 哲也 氏

●(当面)例会の「弁当持ち帰り」はなし・お食事券(\*)の配布 ※2,000円分(3か月間有効)・複数枚をまとめて使うことも可能

●次会例会(1月29日)はクラブフォーラム  
各理事・委員長 上半期の振り返りと下半期の目標を発表  
※委員長欠席の場合は、代理発表を準備

●例会変更の案内  
小樽RC・余市RC 1月中の例会は休会

■出席委員会  
**令和3年1月22日(金)**  
会員総数 64名 本日の欠席者 0名  
理事会決定により100%出席  
リモート出席者 3名  
高木(正)、宮川、保知  
**令和2年1月8日(金)**  
理事会決定により100.00%

## 臨時総会

### 次年度理事・役員について

会 長	野 村 定 弘
副 会 長	本 間 彰 (クラブ奉仕委員会担当理事)
直前会長	斎 藤 仁
次期会長	山 村 弘 一
理 事	斎 田 義 孝 (奉仕委員会担当理事)
理 事	濱 本 進 (例会運営委員長)
理 事	阿 部 誠 (会員親睦委員長)
理 事	田 中 彰 一 (職業奉仕委員長)
理 事	井 手 信 治 (青少年奉仕委員長)
幹 事	桂 正 俊
会 計	松 尾 香 和
S A A	前 川 勝 美

※全員の拍手によって承諾



小樽RC  
稲垣 哲也氏

# 私と柔道

小学校の3・4年生頃に柔道一直線という人気テレビドラマがありました。影響を受け小樽柔道会に入門し、1年ぐらいいは通ったでしょうか。本格的には高校生の時で、高校の3年間は柔道に明け暮れ勉強は程々にという生活でした。

2年間弱毎日4時間の練習で放課後2時間、夜には一般の方との2時間の練習で、帰ってから深夜のランニングで、とても優しい恩師に巡り会い充実した3年間を過ごさせて頂きました。中でも当時の東京教育大学、今の筑波大学での合宿は忘れません。2年の時は先輩について行けば良かったのですが、3年の時には同級生と二人での参加、愛知の東海高校と同部屋での1週間、後に大相撲で活躍した服部との思い出が…。高校ではたいした成績も上げられず卒業（後志ではチャンピオン）し、大阪の大学へ入学しました。ここからの話は、一晩でも話さなければいけない思い出のエピソードがいっぱいです。今思うと私はとても幸せな男だと思います。

今でも当時のメンバーとの交流があるのですが、親戚以上の付き合いです。彼らと話すのは、1年生の1年間は、二度と経験したくない。しかし、自分もそうですが、その1年間の思い出は、4年間の思い出を100としたら99は1年生の思い出です。それだけ辛く・苦しく・楽しく・インパクトのある貴重な1年間だったという事です。

入学試験は学科と実技があり、試験の前にセレクションと称しての試合をし、練習をして生徒の実力を判断し、学科試験はほとんど満点に近いと思っています。というのも、中学程度の問題ばかりだったと記憶しています。そして合格通知をもらって入学。入学式の前に合宿はあるので20日前ぐらいの集合入寮せよとの通知をもうらうが合宿はありませんでした。あったのは適度な練習と毎晩の接待（同郷の先輩や、入れ替わりで卒業していく先輩やで毎日外食で至れり尽くせり）でした。

高校の卒業式も出席出来ずに大阪へ旅立ちました。快適の大学生生活のスタートでした。ところが、入学式がおわりこれで大学の柔道部の一員になれるという喜びと不安が…。部員は各学年10名前後で約40名で内30人位の寮生がいました。入部式は特別ななかったのですが、その夜入寮式がありました。2年の先輩より明日からの生活の行程を聞かされ、新入生の中には帰りたくなった人もいたはずでした。

合宿では山下魯威の150キロベンチプレス。兵庫県警の道場で何校かが入れ替わりでの合同合宿です。このときに運良く東海大学と数日間一緒に練習させてもらい、当時は世界の山下が全盛期の頃で、入って間もない我々1年生は、準備運動でも体がガタガタで、階段の上がり下り、食事の際に満足に口元へ食べ物を運ぶことが出来ないくらいに、両腕が張っていたのでした。通常の練習は午前か午後の3時間半位でした。短いようですが練習前と練習後の体重は当時の私の体重が90キロ前後で3キロ前後は増減がありました。サボろうと思えばいくらでもサボれる練習。そのときに思ったのは「強くなりたいと思っても自分が努力しなければどうにもならない。何かをしていかなくては何も変わらない。努力は嘘をつかない。」でした。今に見てろよって言う精神がいつも自分の心の中にいました。今も自分にはこの精神が大きな心の支えになっていると思っています。

2年生になると同時にレギュラー選抜がありました。1年生の秋口の合宿で左肩を脱臼して1ヶ月くらい柔道ができませんでした。その間下半身のトレーニングと、脱臼した肩の補強の意味でベンチプレスを始め、最初は今まで上げることが出来た70キロはもとより40キロを上げるのが精一杯でした。それが続けていくうちに最高135キロまで上がるようになりました。当時の柔道は、力も技のうちと言われていましたので、自分にとっては、時期的にはラッキーな？怪我でしたが、今でもその右肩には不自由しています。この数ヶ月の怪我人生活がレギュラー候補までに自分を成長させてくれたのだと思っています。

私は柔道を通じて人間としての生き方の基礎を学ばせていただいたと思っています。今もこれからも学ばなければならないことばかりで、毎日が勉強ですが、その基本となるのが、柔道の基本である自然体だと思っています。当たり前の事が当たり前に見える事が幸せだということを教えてもらいました。いろんな場合に通用することではないかと。未熟者ではありますが、これからもご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。ご清聴ありがとうございます。

## 小舅の会 開かれる

1月15日18時から、オーセントホテルにて「小舅の会」を開催いたしました。今年度は、現状を考慮して飲食を伴わない形式で開催いたしましたが、6名の幹事経験者が集い、村越幹事を激励し、情報交換もしっかり行うことが出来ました。



## ■まごころ箱 いつも有難うございます!

**小樽RC稲垣様** 本日はお招きいただきありがとうございました。

**斎藤会員** 小樽クラブ稲垣様、本日は卓話ありがとうございました。

**村越会員** 1月15日小舅の会、ありがとうございました。

**大淵会員** 母の葬儀に際し、ご会葬いただき有難うございました。

## 入金集計額

【令和2.7.3~  
令和3.1.22】

1月22日分  
65,000円

合計 **715,000円**